

学校体育通信 「やまぐちっ子の元気」

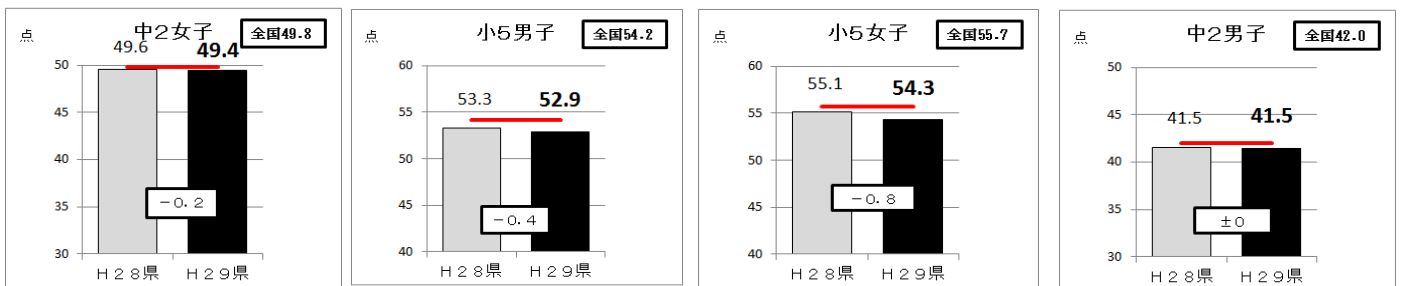
第29号 H30(2018).3.6 山口県教育庁学校安全・体育課 学校体育班

平成29年度全国体力・運動能力運動習慣等調査の結果について

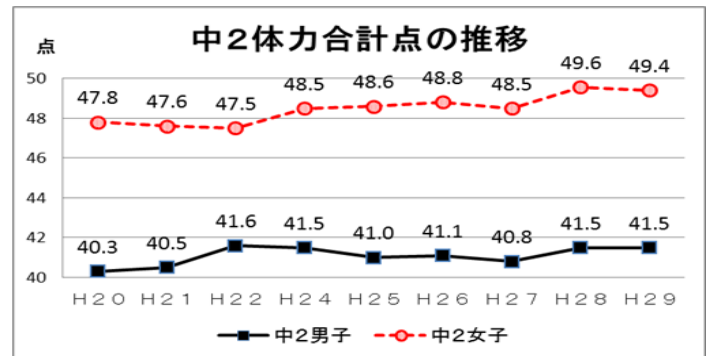
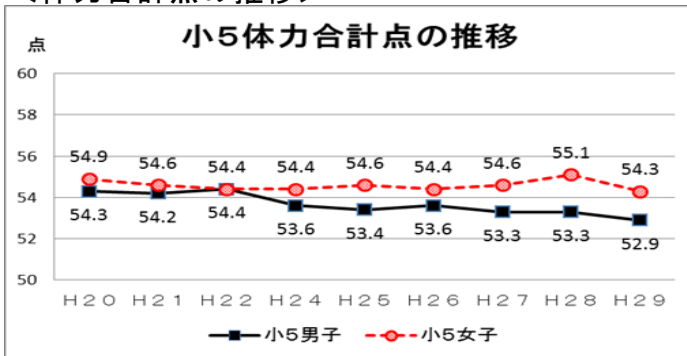
スポーツ庁では、全国の子どもの体力の状況について、詳細な把握・分析を行うことを目的として、平成20年度から、表題の調査を実施しています。本年度の調査結果については、3月中旬までに各小中学校へ郵送されますので、子どもの体力や運動習慣等の状況を把握いただくとともに、柔軟性向上に向けた取組の見直し、1校1取組の見直し、授業の改善等に御活用ください。また、調査結果を子どもに知らせ、体力の重要性や運動への意欲が高まるきっかけとなりますように、御指導をお願いいたします。

■ 体力合計点の山口県平均値と全国平均値の比較

○ 「体力合計点」は、全国平均と比較して、全ての調査対象で下回りました。本県の昨年度の記録と比較すると、中2男子は同じ値でしたが、それ以外は下回りました。



<体力合計点の推移>



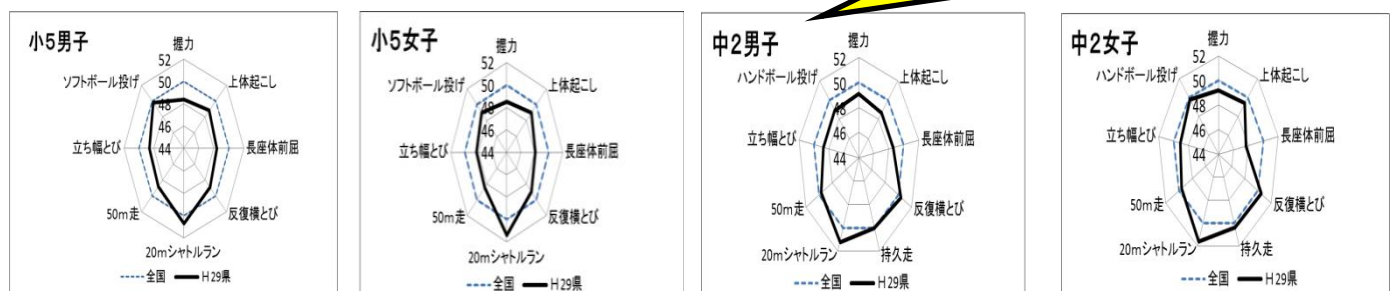
※H20・21・25・26・27・28・29年度は悉皆調査 H22・24年度は抽出調査 H23年度は震災により中止

■ 各調査項目の山口県の平均値と全国平均値の比較

○ 各調査項目では、全国平均と比較して、20mシャトルラン（持久力）は、全ての調査対象で上回りました。これまで同様、持久力に優れています。

<全国平均値を「50」とした場合のレーダーチャート>

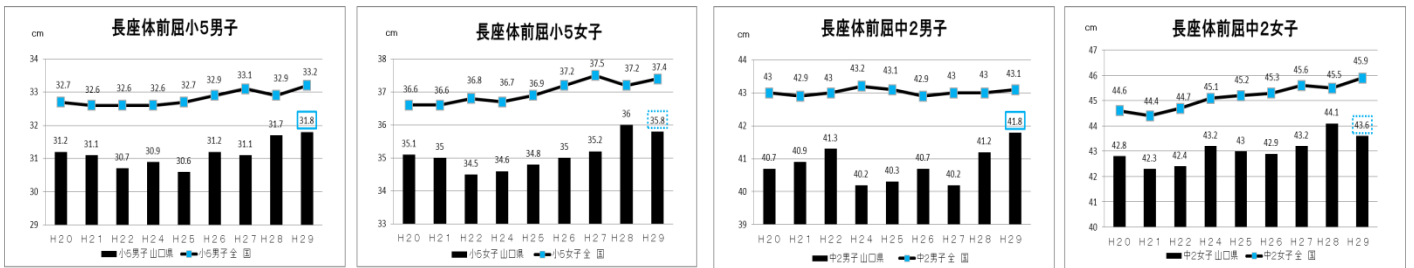
多様な運動経験によって、体力要素のバランスのよい子どもの育成を！



柔軟性向上の取組

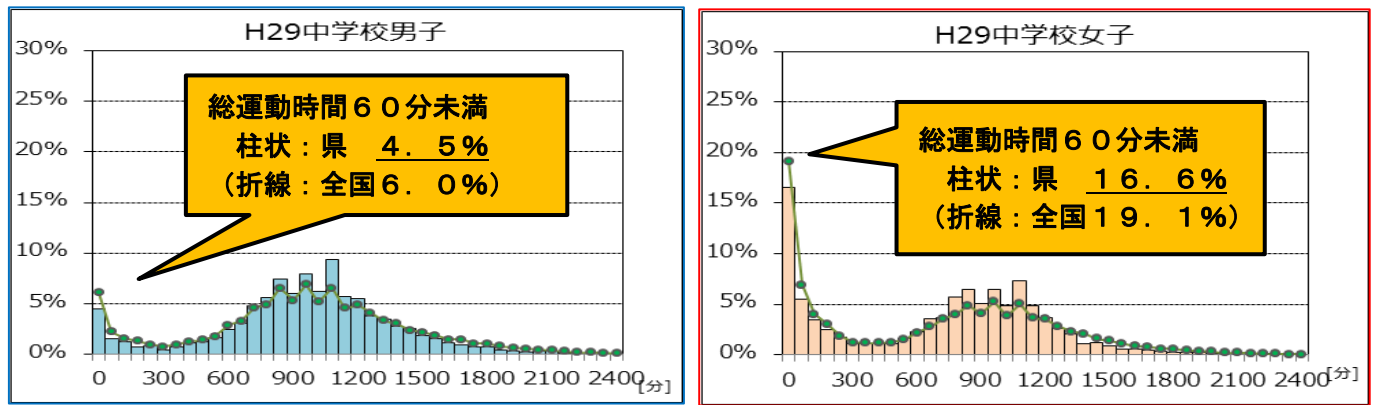
これまで、本県の大きな課題であった柔軟性については、平成28年度から県内全公立小・中学校の共通課題として取り組んできました。その結果、柔軟性の指標である「長座体前屈」において、本県の昨年度の記録と比較して、小5男子、中2男子で上回り、小5男子、中2男子は本県のこれまでの最高値となりました。小5女子、中2女子は昨年度の記録と比較して下回ったものの、昨年度に続くこれまでの2番目の記録でした。各校での、先生方の御尽力により、新体力向上プログラムによる、柔軟性向上に向けての取組や、準備運動等で実施していただいた「柔軟性向上運動メニュー」の取組の成果が出てきております。ありがとうございました。しかし、依然として、全調査対象で、全国平均値を下回っており、引き続き取り組みを進めることとしています。

<長座体前屈の推移>



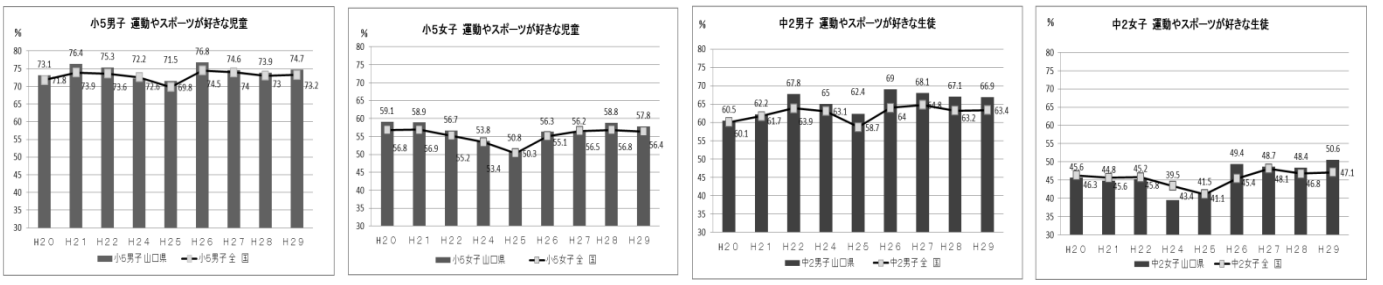
■ 1週間の総運動時間別の生徒の割合

○ 1週間の総運動時間が60分未満の生徒の割合は、全国と比較して低く、前年度に比べ減少しました。小学生も同様の傾向でした。(※棒グラフは県、折れ線グラフは全国の割合)



■ 【運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合】

○ 全国平均と比較すると、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合は、全ての調査対象で上回っています。



■ 来年度の取組

- 各学校における柔軟性向上運動メニューの実施率の向上をめざします。
- 小学校における、ウェブを活用した参加型による体力向上の取組を拡充します。
- 各校の実態に応じた「新！体力向上プログラム」の作成と取組スケジュールの変更を行います。
- ◎ 学校・家庭・地域が一体となった取組の推進に向け、学校体育通信「やまぐちっ子の元気」を来年度から家庭配布します。